

船舶事故等調査報告書

平成23年4月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第94号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年3月30日 06時57分ごろ	
発生場所	大阪湾北西部 兵庫県神戸市 神戸須磨西防波堤灯台から真方位164° 4.4海里付近 (概位 北緯34°34.1′ 東経135°09.4′)	
事故等調査の経過	平成22年5月25日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A ロールオン・ロールオフ貨物船 第二はる丸、7,751トン 140317、春山海運株式会社 B 漁船 ^{かいじん} 海神丸、11トン HG2-5700（漁船登録番号）、個人所有 C 漁船 ^{かいじん} 海神丸、0.7トン HG3-27019（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 一等航海士A、二級海技士（航海） B 船長B、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	A 左舷船首部に擦過傷 B 右舷甲板及び船橋に亀裂、船橋内計器濡損 C なし	
事故等の経過	A船は、船長Aほか11人が乗り組み、一等航海士A及び甲板手Aが船橋当直に当たって東南東進中、B船は、船長Bが1人で乗り組み、C船をえい航し、B船引船列を構成して南東進中、平成22年3月30日06時57分ごろ大阪湾北西部において、A船の左舷船首部とB船の右舷側とが衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風力 2、風向 北北西、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の初期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、神戸須磨西防波堤灯台南方沖を東南東進中、一等航海士Aが、適切な見張りを行っておらず、B船引船列との態勢の判断が適切でなかったことから、B船引船列に接近したものと考えられる。 B船引船列は、神戸須磨西防波堤灯台南方沖を南東進中、船長Bが、適切な見張りを行っていなかったため、右舷方から接近するA船に気付かなかったものと考えられる。

原因	本事故は、神戸須磨西防波堤灯台南方沖において、A船が東南東進中、B船引船列が南東進中、A船及びB船引船列が適切な見張りを行っていなかったため、A船とB船引船列のB船が衝突したことにより発生したものと考えられる。
----	---